

うつのみや 婦防だより

第 76 号

発行日 令和6年3月
編集・発行 宇都宮女性防火クラブ連合会
(事務局: 宇都宮市消防局予防課内)
〒320-0014
宇都宮市大曾 2 丁目 2 番 21 号
☎028-625-5505

火を消して 不安を消して つなぐ未来



宇都宮女性防火クラブ連合会視察研修
令和5年12月19日(火) ライトライン車両基地



宇都宮市マスコットキャラクター
「ミヤリー」

命を守るために
**住宅用火災警報器の
設置・維持管理を徹底**

しましょう！

宇都宮市消防局 公式X
(旧ツイッター)

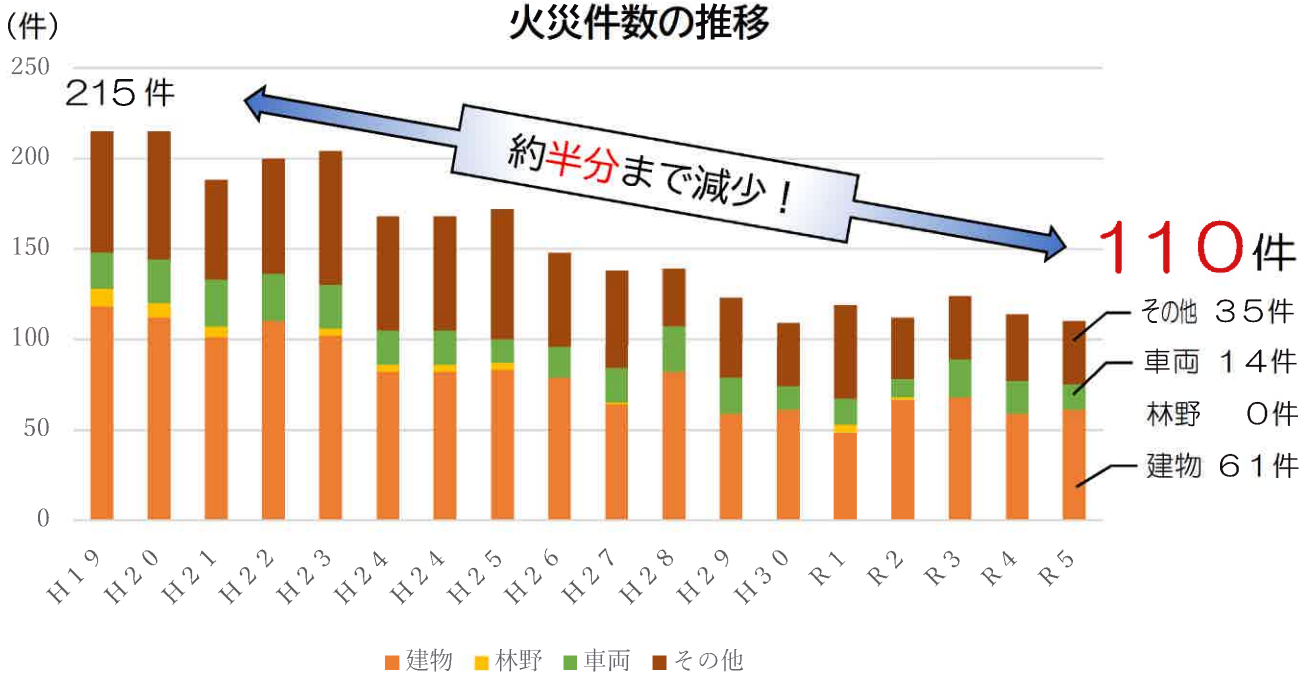




令和5年中の火災の状況

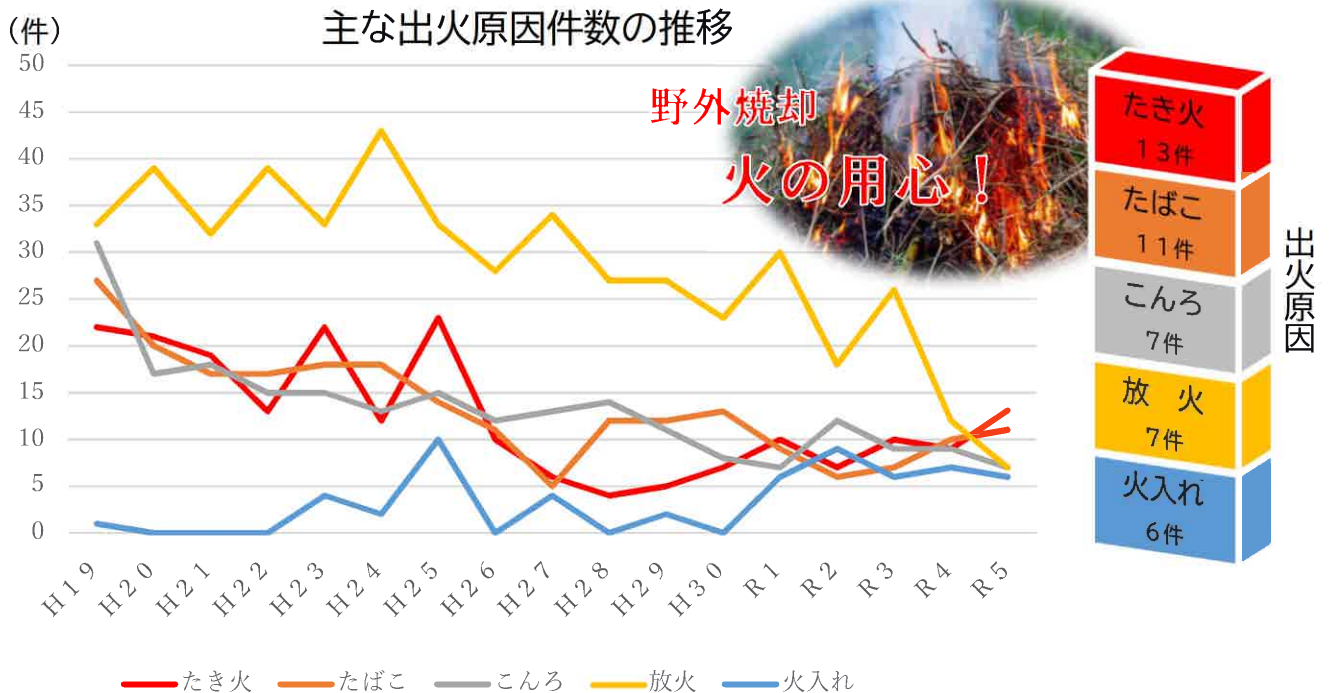
火災件数は110件

令和5年中に宇都宮市内で発生した火災は110件で、前年より4件減少しました。
本市での平成19年の火災件数は215件でしたが、現在は当時の火災件数の約半分にまで減少しています。



出火原因は「たき火」が最多

令和5年は「たき火」による火災が13件発生し、出火原因の第1位となりました。5位の「火入れ」(田畑等の枯草や雑草を焼却する行為のこと)と合わせ、野外焼却による火災が全体の約17%を占めました。実施時は細心の注意を払い、いつでも消火できる準備が必要です。※野外焼却は法律で原則禁止されています。



■ 住宅火災は40件発生

令和5年は建物火災61件のうち40件が住宅火災であり、66%の割合を占めています。住宅火災で特に多い出火原因は「たばこ」、「こんろ」、「電気関係」（電気機器や配線等から出火したもの）です。



【出火事例】

- ◆ 油を鍋に入れ、火をかけたままその場を離れたため、出火した。
- ◆ 消火不十分なたばこをごみ箱に捨てたため、可燃物に着火、出火した。
- ◆ コンセントとプラグの間にほこりが溜まり、水分を含んだほこりが電気を通し、出火した。

今すぐできる火災予防のポイント

【こんろ火災を防ぐ】



- ◆ 調理中にこんろから離れない
- ◆ こんろ周りに燃えやすいものを置かない
- ◆ こんろの上や奥にあるものを取るときは、火を消す
- ◆ 安全機能付きのこんろを使用する
- ◆ 防災品のエプロンやアームカバーを使用する

【たばこ火災を防ぐ】



- ◆ 寝たばこは絶対にしない
- ◆ 吸殻を捨てる時は、必ず水をかけ消火する
- ◆ 吸殻を灰皿やごみ箱に溜めない
- ◆ 飲酒→喫煙→うたた寝に注意する
- ◆ 火種を落とさないように注意する

【電気火災を防ぐ】



- ◆ 使っていないプラグは抜いておく
- ◆ プラグ、コンセントは定期的に掃除する
- ◆ 電源タップは決められた容量内で使用する
- ◆ 電源コードは束ねて使用しない
- ◆ 電源コードは家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する

住宅防火 いのちを守る10のポイント

…4つの習慣…6つの対策… 総務省消防庁ホームページ参照



放火防止五か条

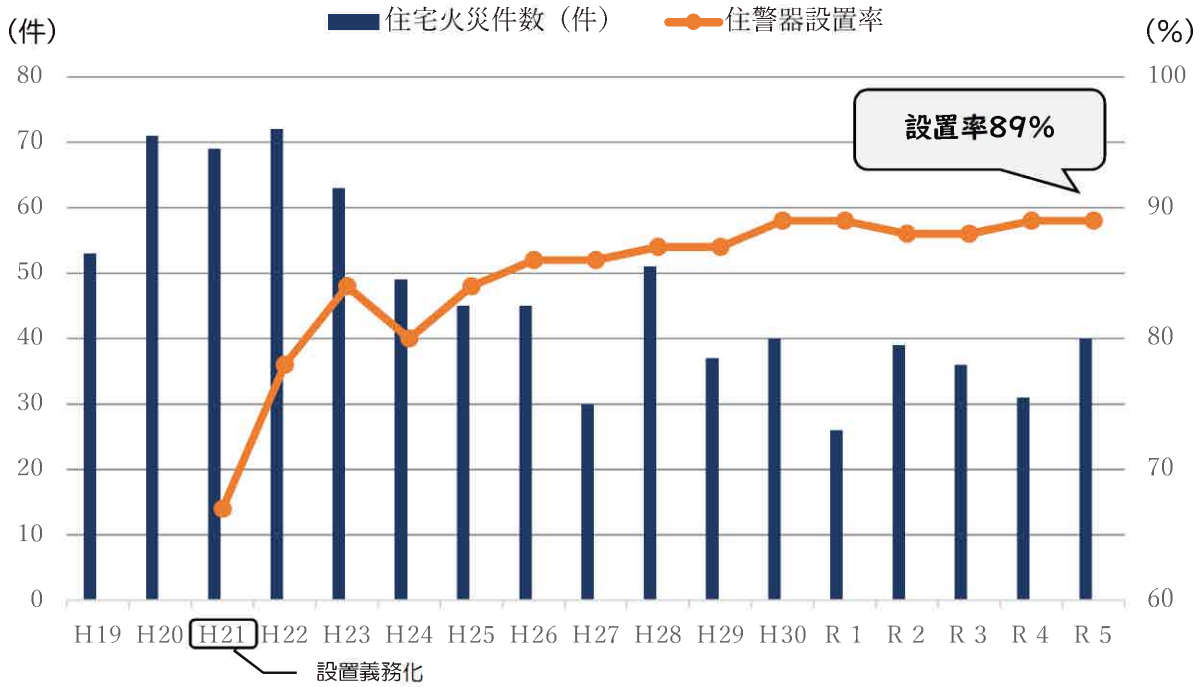
- ◆ 地域ぐるみで放火防止に取り組みましょう！
- ◆ 家の周りには、燃えやすいものを置かないようにしましょう！
- ◆ 夜間、建物の周囲や駐車場は、照明を点灯して明るくしましょう！
- ◆ 車やバイクなどのボディカバーは、燃えにくいものを使いましょう！
- ◆ 車庫、物置にはカギをかけましょう！



住宅用火災警報器の設置による効果

住宅火災件数と住宅用火災警報器設置率の関係

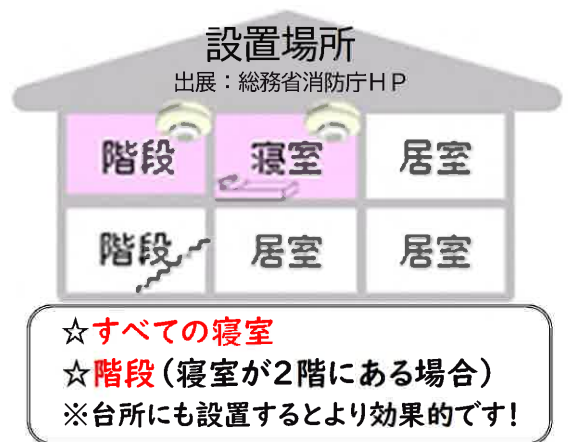
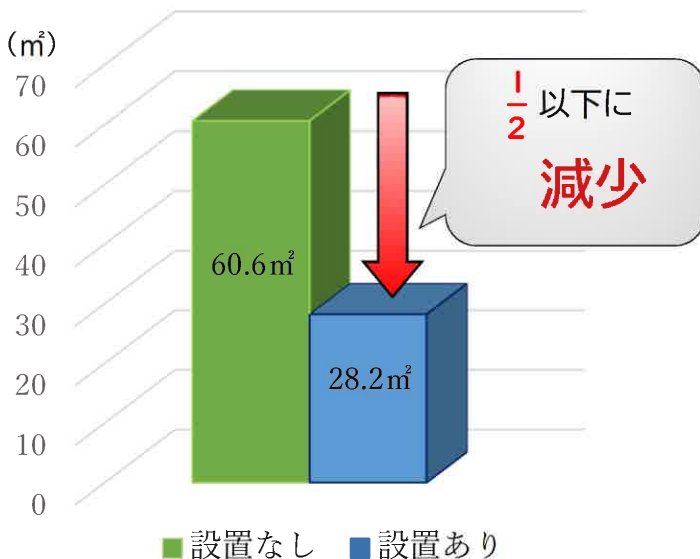
宇都宮市内の住宅用火災警報器設置率と住宅火災件数の関係をグラフにまとめると、以下のとおりとなりました。



住宅の焼損による被害が減少

宇都宮市内で発生した住宅火災の被害を住宅用火災警報器の「設置あり」と「設置なし」の場合で比較すると、以下のとおりとなりました。焼損面積は大きく減少しています。

焼損面積の比較
住宅火災1件あたりの平均値 (過去10年間)



奏功事例

家族5人が在宅中に1階寝室から出火し、家族全員が住宅用火災警報器の警報音に気づき、水バケツで消火することができた。



住宅用火災警報器の維持管理

定期点検を実施しましょう

1 定期的に作動点検をしましょう

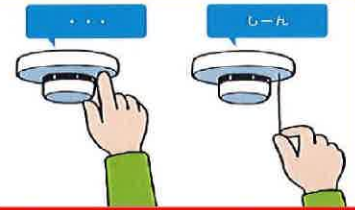
本体から下がっている引きひもを引く、あるいはボタンを押すなどにより、定期的に作動点検をしましょう。



◆正常な場合は？
正常を知らせるメッセージまたは、警報音が鳴ります。



◆音が鳴らない場合は？
電池がきちんとセットされているか、確認してください。



※警報音は、メーカーや製品によって異なります。

2 住宅用火災警報器がよこれていたら

ホコリなどがつくと、火災を感知しにくくなります。
定期的に乾いた布でふき取りましょう。



◆汚れた時のお手入れの仕方
ベンジンやシンナーなどの有機溶剤の使用や、水洗いは絶対にしないでください。

3 電池交換を忘れずに

電池が切れそうになった時、音や光で知らせてくれる機能を有しています。忘れず、電池交換を行いましょ。

※電池寿命は、メーカーや機種によって異なります。なお、最新機種の多くは、電池寿命10年（通常の使用状態）です。また、本体も、センサー等の寿命により交換が必要になる場合があります。詳しくは取扱説明書を確認してください。



令和5年度 宇都宮女性防火クラブ連合会事業報告

総 会 令和5年5月12日（金）

宇都宮市東消防署において、当会の顧問をはじめ多数の方々のご出席をいただき開催しました。今年度は役員の変更が行われ、新体制が次のように決定しました。

【宇都宮女性防火クラブ連合会 四役】

会 長 岡田好枝（横 川）

副会長 山口佳代（姿 川） 副会長 原 玲子（ 錦 ）

会 計 塚田せつ子（昭 和） 会 計 松本友子（築 瀬）

書 記 佐藤幸子（今 泉） 書 記 磯田ゆたか（陽 南）

監 事 尾島高子（陽 東） 監 事 中臣敦子（ 桜 ）

※新任

顧 問 蕪木カツイ（前会長・泉が丘）

《退任》 石川敏子（宮の原）



なお、退任された地区会長には、感謝状が贈られました。

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| 小野田好子 様（富 屋） | 岩下啓子 様（豊 郷） | 笠原英子 様（ 峰 ） |
| 南木敬子 様（御 幸） | 阿久井とも子 様（御幸ヶ原） | 石川敏子 様（宮の原） |
| 野村博子 様（明 保） | 鈴木真理子 様（河 内） | |

■ **役員研修** 令和5年7月18日（火）

防火・防災意識の高揚と連合会役員相互の親睦を目的に、ホテル東日本宇都宮を会場として研修会を行いました。各地区の活動について意見交換を行ったほか、済生会宇都宮病院の救急救命センター長である小倉医師を講師に招き、本市をとりまく地域医療体制について見識を深めました。



■ **普通救命講習** 令和5年7月各週土曜日

応急手当の普及啓発活動として、クラブ員を対象とした普通救命講習会を開催しました。各消防署を会場に総勢114名が受講し、救急隊員から心肺蘇生法やAED取り扱いの指導を受け、受講後は全員に修了証が交付されました。



■ **消防学校一日入校** 令和5年10月7日（土）

楽しみながら防火・防災の知識や技術を習得することを目的として、消防学校一日入校を実施し、女性防火クラブ員155名が幼年消防クラブの指導者や少年消防クラブ員らとともに、初期消火や応急手当などの実践的な体験と地震や大風等の模擬体験をしました。



■ **消火競技会** 令和5年11月20日（月）

戸祭町の競輪場駐車場において、宇都宮自衛消防協会及び宇都宮危険物保安協会との合同で開催し、各地区女性防火クラブの代表者が消火器を用いた消火技術を競いました。



【競技結果】

第1位	宝木地区婦人防火クラブ	仲尾次真由美・丸山明子チーム
第2位	戸祭地区女性防火クラブ	高崎荘子・狐塚由佳子チーム
第3位	陽南地区婦人防火クラブ	本山真澄・豊田真紀子チーム
第4位	錦地区女性防火クラブ	青木仁美・平柳和子チーム
第5位	姿川地区婦人防火クラブ	山口佳代・駒場由里子チーム



■ **防火広報**

令和5年11月9日（木）～15日（水）

令和6年 2月19日（月）～26日（月）

秋季・春季全国火災予防運動の一環として、市内各地区のクラブ員が、広報車で地区内を回り、地域住民に火災防止と住宅用火災警報器の設置、維持管理について広報活動を実施しました。



■ **視察研修** 令和5年12月19日（火）

防火・防災意識の高揚と各クラブ員相互の親睦を目的に、ライトライン関連施設の視察研修を行いました。ライトキューブ宇都宮での説明会ではライトラインの概要と今後の展望について学び、車両基地ではライトラインの詳細な性能について学びました。



■ 防火作品

防火作品は、女性防火クラブ員が防火に関する標語などの作成を通して防火思想の普及啓発を図ることを目的に募集を行い、今年度は116点の防火標語が応募され、厳正なる審査の結果、下記の20点を入選作品として決定しました。



【入 選 作 品】

- | | | |
|-------------------------|-------|-------|
| ○ 警報器 ワンセットだよ 消火器と | 泉が丘地区 | 蕪木カツイ |
| ○ 生命を守る 未来を守る 火の用心 | 国本地区 | 三瓶陸子 |
| ○ みんなで つなげる 防火の輪 | 桜地区 | 小林千里 |
| ○ 1. 2. 3 指さし確認 火の用心 | 城東地区 | 野口時江 |
| ○ コンセント ほこりの掃除で 火の用心 | 城東地区 | 富貴塚良子 |
| ○ これからは 防火と防災の ニ刀流で行こう！ | 昭和地区 | 塚田せつ子 |
| ○ 広めよう！ 地域ぐるみで 防火の輪 | 昭和地区 | 栗又美津江 |
| ○ 声出して 指さし確認 火の用心 | 雀宮地区 | 北村厚子 |
| ○ 年老いた 父母に何度も 火の用心 | 雀宮地区 | 遠藤孝子 |
| ○ 消したかな？ 必ず確認 2度3度 | 宝木地区 | 平野朱美 |
| ○ ちょっと待て デンワに出る前 火を消して！ | 宝木地区 | 山口悦子 |
| ○ 消し忘れ みんなで確認 火の用心 | 中央地区 | 中田智美 |
| ○ 声掛けて 一人一人が 火の番人 | 宮の原地区 | 小野澤広子 |
| ○ 大丈夫？ あなたの家の タコ足配線 | 陽南地区 | 細田美智恵 |
| ○ 寝る前に 再度確認 火の始末 | 陽南地区 | 磯田ゆたか |
| ○ 気をしめて 火の元戸締め しっかりと | 横川地区 | 星野久子 |
| ○ 防災は 意識と 知識と 心掛け | 横川地区 | 村田千佳 |
| ○ 見直そう 防災マップ 家庭から | 横川地区 | 岡田好枝 |
| ○ 火の用心 やっぱりアナログ 指さし点検 | 河内地区 | 高橋恵美子 |
| ○ 火の恐さ 全てを無くす 気持ちまで | 河内地区 | 吉田恵美子 |

🌸 女性防火クラブ員 募集中！！

女性防火クラブは、火災予防に必要な知識や技術を習得するための活動や防火啓発活動など、高い人員動員力を最大限に発揮し、積極的な防火活動を行っております。

「家庭から火は出さない」「自分たちの地域は自分たちで守る」という固い信念と強い連帯意識の下に、火災や災害に強い安全なまちづくりに向け、より多くの女性の方々に、防火・防災の重要性を認識していただき、女性防火クラブ活動へ参加していただければ幸いです。



興味のある方は、事務局（消防局予防課：028-625-5505）までご連絡ください。



地区だより 明保地区・桜地区

明保地区女性防火クラブ

会長 中村 玲子

明保地区は宇都宮市の西に位置し、駒生運動公園や鶴田羽黒神社、JRA馬事公苑等があり、近年は若い方の居住も増えてきておりますが、まだまだ高齢世代が活躍している緑の多い住宅地です。

さて、明保地区女性防火クラブは、自治会員1730世帯のバックアップのもと、地域行事に参加協力しております。平常時は、地域各所に設置してある「まちかど消火器」の見回り点検を年に一度、家庭にある乾物や缶詰等を持ち寄って、試行錯誤しながら防災食作り、新聞紙で作るスリッパやゴミ袋で雨具を作成する等、非常時に備えた防災グッズ作りの訓練を重ねています。また、「子どもの救命救急講習会」では、赤ちゃんや小さなお子さんを連れてお父さんお母さんが多く参加してくれました。

毎年10月に行っている地域防災訓練も、3年間に及ぶコロナ禍により縮小型で実施されていましたが、今回の防災訓練では300名を超える参加者と、西消防署城山分署、消防団姿川分団、中央警察署の協力のもと「避難所の開設」「救急救命」「緊急時搬送」「消火訓練」「煙体験」「緊急時情報伝達」等の体験と訓練を行いました。明保地区女性防火クラブは、女性リーダーとして「情報活動班」の担当となり、協力いたしました。



高齢化による会員の減少で厳しい状況にありますが、地域社会への活動を通じて、なお一層努力していきたいと思っております。

桜地区婦人防火クラブ

会長 中臣 敦子

桜地区は、JR 宇都宮駅西側大通りをはさみ、おおよそ裁判所から作新学院のある場所に位置しています。現在足利銀行本店のある交差点の南北の通りは通称桜通りと呼ばれ、昔軍隊があった頃は軍道と呼ばれておりました。通りの両側には1000本もの桜が植えられていたそうです。現在は伐採されてしまいましたが桜地区の桜や桜通りの桜の由来となっています。

また、軍の施設跡地が学校等になったため、桜地区は宇都宮市の中でも有数の文教地区となりました。

桜地区婦人防火クラブは各自治会から1名の支部長によって構成され、地区内の行事には積極的に参加協力しています。新型コロナも落ち着き、各事業もコロナ前に戻りつつあり、対面での活動の大切さを痛感しています。

主な活動は市消防行事への参加ですが、その他役員研修や広報活動なども行っています。コロナ以前に行っていた防災訓練も昨年見直され、避難訓練という形で再開し、たくさんの問題点を見つけることができました。今後もこの活動を継続し、地区内の「家庭から火を出さない」を広めていきたいと思っています。



※次回の寄稿予定は、宮の原地区と篠井地区になります。